佳作・福島県教育委員会教育長賞

無遺策	菅野浩	いわき市
〃・〃		
老松痩竹臨煙亭	佐藤黄龍	福島市
〃・〃		
高村光太郎詩五月のアトリエ	鈴木抱琴	福島市
〃・〃		
和歌	山下春汀	郡山市
〃・〃		
春日登楼懐帰芳	賀青藍	須賀川市
〃・〃		
碧潭	大河原一酔	いわき市
〃・〃		
孤鴻星	羽愁	福島市
〃・〃		
夕暮の歌	助川空翠	いわき市
〃・〃		
風景	今泉直人	鏡石町
〃・〃		
游煩悩林	高野秦岳	福島市

シ、入場者　約16,000人

② 第13回県選抜秀作美術展

ア、趣　旨

県人並びに県出身の作家が、昭和48年1月から本年9月までに発表した秀作を選抜して県民の鑑賞に供し、本県美術の振興に資する。

イ、主　催

福島県教育委員会、福島市教育委員会

ウ、後　援

福島県美術家連盟、在京福島県美術家協会、財団法人福島県文化センター

エ、会　期　昭和49年11月13日～17日

オ、会　場　福島県文化センター3階展示室

カ、作品の部門

日本画、洋画、彫塑、工芸、書の5部門

キ、作品の規格

(ア) 絵画は30号以上とする。

(イ) 彫塑は半等身以上を基準とする。

(ウ) 工芸のパネルの場合は絵画に準ずる。その他は任意とする。

(エ) 書は 242cm×90cm以内とする。ただし屏風は 172cm四方以内とする。

ク、選考委員

菅野忠良、斎藤正夫、高橋良一郎、照井久良人、常盤大空、平井博、平原春湖、山川忠義、渡辺到源、若松光一郎

ケ、展示数

日本画　11点、洋画　58点、彫塑　16点、工芸15点、書　25点　計 125点

コ、鑑賞者　2,500名

③ 日本画研修会

ア、主　催

福島県教育委員会、福島県日本画協会、棚倉町教育委員会

イ、期　日　昭和49年8月3日(土)～5日(月)

ウ、会　場　棚倉町中央公民館

エ、講　師

日本美術院院友　藁谷耕人

日本画院同人　飯塚栖圃

オ、内　容　水墨コース、彩色コース

実技を中心に講義及び討議を実施する。

(ア) 水墨コース

㋐ 水墨画について

㋑ 用具用材について

㋒ 四君子等による実技指導

(イ) 彩色コース

㋐ 彩色の日本画について

㋑ 用具用材について

㋒ 静物写生到作指導

(ウ) 全体討議

カ、経　費

(ア) 受講料　無料

(イ) 教材費

水墨コース　2,000円～3,000円

彩色コース　3,000円～5,000円

キ、日　程

月日＼時間		9 10 11 12	13	14 15 16
第1日（8月3日）	水墨コース	水墨画について	昼	実技指導
	彩色コース	彩色の日本画について	休	実技指導
第2日（8月4日）	水墨コース	実技指導	〃	実技指導
	彩色コース	実技指導		実技指導
第3日（8月5日）	水墨コース	実技指導	〃	評価・質疑
	彩色コース	実技指導		

ク、参加者　水墨コース25名、彩色コース12名

ケ　本事業は今年度限りとし、50年度から青少年芸術文化リーダーの集いに統合する。

④ 彫塑研修会

ア、主　催

福島県教育委員会、福島県彫塑会、福島市教育委員会

イ、期　日　昭和49年8月3日(土)～5日(月)

ウ、会　場　福島県立福島高等学校　工芸教室

エ、講　師　自由美術協会　佐野文夫

日彫会会員　菅野忠良

オ、内　容

初心者コース及び上級者コースの2コースとし、それぞれ実技指導を中心としながら講義や討議を行う。

(ア) 初心者コース